

# 教会の **MISSION** は世界宣教

「全世界に行って福音を宣べ伝えよ」



イエス・キリストは  
自分の命を捧げた



全ての人のために  
真の良き牧者です





「ヨハネの言葉を聞いて、イエスに従ったふたりのうちのひとは、シモン・ペトロの兄弟アンデレであった。彼は、まず自分の兄弟シモンに会って、「わたしたちはメシア — 『油を注がれた者』 という意味 — に今出会った」と言った。そして、シモンをイエスのところに連れて行った。イエスは彼を見つめて、「あなたはヨハネの子シモンであるが、ケファ — 『岩』 という意味 — と呼ぶことにする」と言われた。

(ヨハネ 1 章 41~44 節)

## 世界福音宣教とは

イエス・キリストを世界のすべての人に知らせる事です。

主イエスは、ことばと生活、そして特に十字架上の死と3日後の復活において、人間一人ひとりに対する神さまの温かい思いやりとゆるぎないいつくしみが示されていることを、すべての人に伝えたいのです。

全宇宙の美しさの中で現れている神の臨在を。

希望と喜びを失いかけた人類に、父である神の深いあわれみを。

主が信じる人の心に注いでくださる愛とゆるしの力は、すべての隔たりを取り除き、人類を一つの家族の絆に結んでくださる信仰を。

## わたしたちはだれもが宣教する弟子

「誰かが本当に自分を救う神の愛の体験をしたなら、これを告げに出ていくためにそれほど多くの準備期間は必要ないのです。その人に多くの研修会や長い教示を待っているわけにはいかないのです。キリスト者は全員、キリスト・イエスにおいて神の愛に出会ったそのはかりにおいて宣教師なのです。もはやわたしたちは単なる「弟子」であり、『宣教師』であるとは言わず、わたしたちはいつも「宣教する弟子」だと言います。もし納得がいかないなら、最初の弟子たちに目を向けましょう。彼らはイエスのまなざしを知った後すぐに、喜びにあふれてこのことを告げ知らせに出かけていったものです。「わたしたちはメシアに出会った！」(ヨハネ 1 章 41 節) と。

「福音の喜び 120」

## MISSION 世界宣教に貢献する

福音宣教を目指す「使徒職には、4種類あります。苦しみの使徒職、祈りの使徒職、模範となる使徒職、活動による使徒職です。四つとも全て同じように大切です。」（バチカン駐日大使 Joseph CHENNOTH 大司教）

### 活動による使徒職 - 全信徒の役務

「わたしは教会のすべてのメンバーに期待します。片隅に追いやられた人々のもとに向かうために、自己の中から出てください。「全世界に行きなさい」というのが、弟子たちに仰せになったイエスの最後のことばです（マルコ 16・15）。このことばは今日も引き続き、わたしたち皆に向けられています。全人類が待っているのです。希望をすっかり失った人、困窮している家族、孤児、将来の見えない若者、病人、孤独な高齢者、心は空虚な資産家、人生の意義を探している人、神を渴望している人、等々」。 教皇フランシスコ「修道者への手紙 II,4」

### 使徒職に捧げた人生 - 男女の奉獻生活



世界に広がる修道者は生涯、神に奉獻し、助けを必要とする人々に奉仕します。それを通して、本当の深いしあわせを見つけ、分かち合うことが出来ます。言葉だけではなく、1回限りの全生涯によって「良き知らせ」を告げ知らせる福音宣教者をこそ、イエスは求めておられるのです。

### 祈りの使徒職 - 観想修道会の福音宣教

「会員が孤独と沈黙のうちに絶え間ない祈りと厳しい償いのわざをもって、ただ神にのみ心を遣うために、観想に全面にささげられている会は、（中略）キリストの神秘体において卓越した位置をつねに占めている」。 「修道生活の刷新 7」



## 世界宣教を祈る

恵みゆたかな神よ、

あなたは、教会がすべての人の救いの秘跡となり、  
キリストのわざを世の終りまで伝えることを望まれました。

世界宣教の日に当たって祈ります。

世界のキリスト者が 言葉と行いをもって  
周囲の人々にいのちと愛の源であるあなたを告げ知らせ、  
人類の平和と繁栄に貢献できますように。

わたしたちの教会も

あなたの望みにこたえることができますように、  
光と力を注いでください。

福音に出会う恵みを与えられたわたしたちが  
重荷と労苦を背負うすべての人びとと共に、

キリストから与えられた

喜びと希望を分かち合い

あなたに向かって歩いていく

ことができますように。

主イエス・キリストによって。

アーメン。

